One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

196
2018 November

特集

生まれ変わった ICT学習環境

同志社人訪問

株式会社藤井大丸 代表取締役社長
藤井 健志さんに聞く

COVER INTERVIEW
My Purpose 挑戦する人

New!
My Purpose 挑戦する人
を動画でCHECK!

CONTENTS 2018 November No.196

2 特集 生まれ変わったICT学習環境

7 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～
神学部　村山 盛葦ゼミ
心理学部　大屋 藍子ゼミ

9 同志社の研究は今
中小企業マネジメント研究センター
センター長　関 智宏（商学部教授）

11 来年度就職を目指す皆さんへ

13 同志社校友会

15 INFORMATION
クリスマス・イルミネーション点灯式／第143回 同志社EVE／WEBでCHECK! 課外活動総合WEBサイト「D-Live」／ 2018年度 卒業式・学位授与式（学部・大学院）／ 2019年度 入学式（学部・大学院）／佐藤 優 × 松岡 敬 対談『いま大学で勉強するということ「良く生きる」ための学びとは』／本学教員の執筆図書紹介

18 INTERVIEW ～同志社人訪問～
株式会社藤井大丸代表取締役社長
藤井 健志さんに聞く

21 My Job, My Life ～私と「仕事」～
図師 美緒さん（2016年 社会学部産業関係学科卒業）
木田 将也さん（2011年 商学部商学科卒業）

23 COVER INTERVIEW
My Purpose ～挑戦する人～
友野 一希さん（スポーツ健康科学部 2年次生）

お知らせ

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。2018年度より4月・7月・11月の年3回の発行となります。同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。 ▶https://www.doshisha.ac.jp

特集

生まれ変わった ICT 学習環境

nformation and ommunication echnology

― 情報システムリプレース後の学習環境について ―

進化し続ける高度情報化社会においては、卓越した情報対応能力が不可欠です。
本学では、情報対応能力を駆使して、グローバルに活躍し、
社会に貢献できる人物を輩出できるよう、
両校地の ICT（情報通信技術）学習環境を一新しました。

特集

生まれ変わったICT学習環境
特集鼎談

横川 隆一

同志社大学副学長
CIO、全学情報セキュリティ統括責任者
情報環境整備部会 部会長
生命医科学部教授

廣安 知之

2018年インフラ系情報システム
リプレース検討作業部会 部会長
情報環境整備部会 委員
生命医科学部教授

金谷 益道

2018年インフラ系情報システム
リプレース検討作業部会 委員
文学部教授

日本の私立大学を牽引する最先端のICT学習環境を構築

横川　本学では、高度情報化社会に即応する情報教育環境の整備をこれまでから積極的に推進しており、今回の情報教育環境リプレース 2018（以後、リプレース 2018 という）によって、時代の最先端に向けて大きく踏み出すことができたと確信しています。まず大きなところでは、Word®やExcel®、PowerPoint®をはじめとした、Office®のアプリケーションが統合されたクラウドサービスである、Office365 を導入しました。大容量のクラウドストレージ（記憶装置）を自在に活用することができるとともに、高度なセキュリティ対策も実現しています。さらに、無線 LAN エリアの拡張と高速化（高速Wi-Fi規格IEEE802.11ac 対応）、情報教室やマルチメディアラウンジ・メディア工房のパソコンを、最新機種に変更。また、個人のパソコンやスマートフォンからでも使用可能である DoKoDeMo プリンタでは、USB メモリに保存しているデータを PC を経由せず、USB メモリ単体で印刷可能になるなど、多岐にわたるサービスの充実化を実施しています。この新たな ICT 学習環境によって、学生は同志社大学に居ながらにして自由に世界中からほしい情報をスピーディに得ることができ、自らの学びに役立てることができます。また、その中で情報を正しく取捨選択するリテラシーも磨かれると考えています。

廣安　進化し続ける情報化社会の第一線で活躍するためには、時代が要請する際立つ情報対応能力を、個々の学生が能動的に養わなければなりません。そのために重要なのが、先進の ICT 学習環境です。常に最先端であることがベストです。これは 2018 年インフラ系情報システムリプレース検討作業部会（以後、作業部会という）でも最初に申し上げたのですが、新島襄は「他の大学に遅れることは許されない」と述べています。これに基づき、本学の情報教育環境の構築においても、基本理念の一つとして「日本の私立大学を牽引するような情報システムであること」を掲げ、追求してきました。他の大学に先駆けた情報教育環境の提供は責務であると考えています。

金谷　私も常に「最先端」を追求することは非常に大切だと考えています。例えば、今回のOffice365の導入は、様々なレベルで数多くのメリットをもたらしています。まず、学生は個人用にOffice のアプリケーションを購入する必要がなくなりました。さらに、データの保存先がクラウド上となったため、パソコンやスマートフォン、タブレットなどのデバイスを問わず、いつでも思いのままに自分の作成中のレポートなどの続きを編集することができます。データの保存に USB メモリを使わなくて済みますので、置き忘れや紛失などのリスクもなくなり、ストレスが解消されるとともに、情報セキュリティ水準も著しく向上しています。最近は文系の学生でも、プレゼンテーション

に Office 365 の PowerPoint を活用するようになっています。

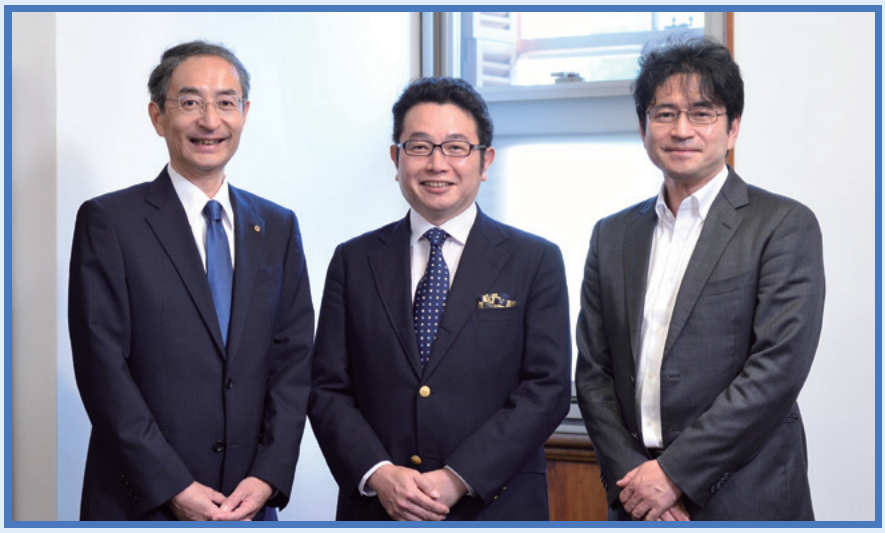
また、これまでは学内ネットワークからインターネット接続を行う際、プロキシが必要でしたが、これを撤廃したことによって、Kindle® をはじめとする電子書籍リーダーも簡単に使用可能となりました。最近は電子媒体の論文を読む機会も多く、その点でも役立っています。

横川　次代に向けた情報教育環境の基盤整備は、大学にとって不可欠です。例えば、教室で授業を受けるだけでなく、時間や場所の制約を受けずにオンライン上で学習ができる教育体系を e-learning と呼びますが、その基盤環境を本学では「e-class」として展開しています。「e-class」は、科目担当教員と受講生をネットワーク上で双方向に結びつけ、より効果的な学習環境を提供しており、これも最先端の大学教育の基幹をなすものです。また、研究においても学外の研究者との連絡、データの収集や処理を含めて、高速で安全なネットワークは必須です。もはや、こういった情報基盤がなければ、教育研究は成り立たないのです。

サービス拡充とコスト削減を長期間にわたり徹底討議

横川　リプレース 2018 では、持続可能なシステム構築を実現するために、システム・サービスの量的・質的な向上施策と、効果的な資金投入を、教職員協働で長期間にわたり徹底的に検討しました。この点に関して廣安先生と金谷先生の実感を聞かせていただけますか。

廣安　本学の情報教育環境のリプレースは、4 年に 1 回のスパンで行うことになっています。今回のリプレースに向けての作業部会は、2016 年から 13 回実施してきましたが、その前段階からも継続的に討議を重ねてきました。最初に議論したのは作業部会メンバーの選定で、様々な立場からの意見を反映するために、文系と理系から合わせて 5 人の先生を選出しました。



作業部会メンバーの理解を深めるためにも、職員の方々を加えて勉強会を始め、各自が忌憚のない意見を交わすとともに、多くの教職員に対してヒアリングを重ね、再考するといった作業を繰り返しました。本学の情報環境の基本理念である「大学全体の情報を統合的に活用し、教育研究活動の高度化・先進化を図る情報システムであること」、先に述べた「日本の私立大学を牽引するような情報システムであること」の 2 点を起点にした、システム・サービスの構築と、効果的な資金投資の双方を実現するのがテーマです。私たちが直面した大きな課題の一つは規模の問題でした。本学のリプレース 2018 では、学生と教職員を含めた約 45,000 人のユーザーを対象にしています。小規模の大学とは提供すべき情報教育環境の次元が異なり、セキュリティ対策も非常に高度なものが求められます。これほどのユーザー規模を想定したシステム・サービスを構築した経験のある企業などは、皆無に近い。ですから、全て作業部会で最新情報を収集し、これらを精査した上で、確信を持って決定しなければならない。作業部会の責任は重大でした。

金谷　例えば、これまで専用のシステムで運用していたオンラインストレージとメールシステムが、Office365 の中のアプリケーションに移行されましたが、これらも当初から想定していたわけではありません。Office365 以外に候補となるものを、作業部会で全て洗い出し、徹底的に比較した結果「Office365 がベスト!」という結論に達しました。またその他にも、魅力的なシステム・サービスは数多くあったのですが、あれもこれもというのでは費用は膨大なものになってしまうため、線引きが重要となります。そこで、実際の利用率や利用頻度などの情報を収集した上で、本当に必要なものは何か精査して絞り込み、最適化を図りました。さらに、機器・システムごとに統廃合の可能性も詳細に検討し、TCO（Total Cost of Ownership/ 総保有コスト）の削減も実施しました。システム・サービスの拡充とコスト削減を両立させるためには、資金投下対象の選別が最も重要なポイントになります。一例をあげると、「高速 Wi-Fi を両校地のどこでも使えるようにしてほしい」という要望が非常に高い。そうなれば便利だということは承知していますが、直ちに対応するのはコスト的に厳しい。そこで、どこで線引きするのか、どのような方法があるのかを検討しました。その結果、無線 LAN エリアを可能な限り拡大するとともに、キャリア（docomo、au、softbank）Wi-Fi を新たに導入しました。さらに、貸し出し用の高速 Wi-Fi システムも用意していますので、学会などで「この場所で利用したい」といった申請があれば、即応できます。このようにサービスの拡充を図り続けています。

横川　一般企業のシステム・サービスはビジネスのためであり、一元的です。これに対して大学の場合は、学生・教職員という立場の異なるユーザーの要望に即応する、最新のシステムを構築しなければなりません。全ては学生の教育環境と情報対応能力を高めるためですが、そのためには教員が教育・研究を行うための最適な情報基盤を提供し、同時に職員の業務遂行をサポートするシステムを整備する必要があり、多元的な対応が必要です。この点からも、外部の企業や専門家に任せれば良いというわけにはいかず、作業部会での検討が非常に重要なものとなるのです。

AI、IoT、Society5.0…
今後も先進環境を継続して追求

廣安　リプレース2018によって価値ある改革ができたと自負しています。ただし、今回のリプレースは、本学のシステム・サービス最適化の到達点ではなく、あくまでも通過点です。今後も次代に向けた最適化を推し進めていかなければなりません。そのポイントの一つ目は世界が注視しているAI（人工知能）への対応です。ちなみに、AIの運用には学内のデータを統合する仕組みが必要ですが、本学では、他大学に先駆けてシステムを導入しています。最適化のポイントの二つ目は、本学の情報教育環境の最新化を長期的な視野をもって進めることです。現在、政府が提唱しているSociety5.0（新たな社会）の実現も、これらを中核にしたものです。文部科学省も「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定しています。今後のシステムの調達方法や、運用方法を既存のしがらみにとらわれることなく改善していくことが必須です。それにより、時代の変化、社会の進化を中長期の視点から捉え、本学の情報教育環境の最新化を今後も推し進めていくことができるのです。

横川　本学の学生には、先進のICTによって新たに構築した情報教育環境を最大限に活用してほしいと願っています。常に必要な情報や知識を余すところなく得ることができる環境は整っています。これを能動的な学び手として積極的に使いこなしてもらいたい。その中で育んだ全ての学びが、これからの高度情報化社会での活躍を支える卓越した能力になると確信しています。

金谷　求める情報や知識を速やかに網羅し、的確に取捨選択を行い役立てるという最先端の情報リテラシーは、次代を生きる学生にとって不可欠なものです。ただし、さらに思考力を深め、創造性を高めることも非常に重要です。例えば、AIでは解けない、哲学や倫理に関わるような問題と向き合える能力が問われる時代が来ているからです。

廣安　思考力や創造性は、さらに重要になります。これらの卓越した能力を持つ人材を育成するという本学の理念は創立以来、不変です。最新の情報教育環境は、次代の進展に貢献しようとする学生がそれぞれの分野で活躍し、自らの志を実現するために、スキルとして絶対に欠かせない情報対応能力を主体的に学ぶためのものです。驚異的に進化し多様化する21世紀の高度情報化社会の中での、大きな成果を期待しています。

自発的な学びを支援する最先端のICT学習環境を新構築

「情報教育環境リプレース2018」では、本学における情報環境の基本理念である①大学の情報を統合的に活用し、教育研究活動の高度化・先進化を図る情報システムであること、②日本の私立大学を牽引するような情報システムであることの2点を継続しつつ、次の3点を基本方針としてこれからの同志社大学を支える持続可能なインフラ系情報システムの構築を推進しています。

1　導入方法の最適化（調達方法、期間、区分のベストミックス）

機器・システムごとに購入している調達方法の見直しや運用期間の変更、システム区分の統廃合など、様々な可能性を検討し、効果的な資金投資を実現することによってサービスの拡大を図りながら、中長期の視点に基づくTCO（総保有コスト）の削減も図っています。

2　システム構成の最適化（クラウド※とオンプレミス※のベストミックス）

汎用性のあるサービスの選定を重視し、迅速な導入と安定稼働を実現しました。クラウドサービスを導入し、クラウドとオンプレミスの特長を最大限に活かしたシステム構成としました。

※クラウド　利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で、利用者に提供するサービス。
※オンプレミス　サーバーやデータベース等の情報システムを学内の設備で運用すること。

3　サービスレベルの最適化（効果的な資金投資と持続可能なサービス提供）

持続可能なシステム構築を実現するために、基本的なシステム・サービスレベルは確保し、その稼働率や利用内容に重みづけを行っています。さらに、持続可能な提供体制の構築を目指しています。

情報教育環境リプレース2018

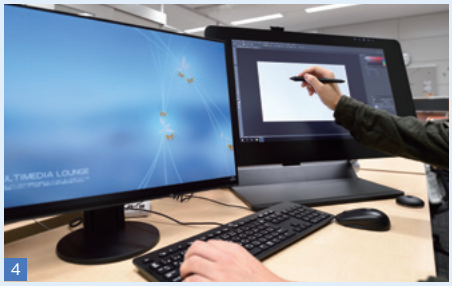
■主な変更点
Office365の導入
・メール容量の増加
・クラウド（オンライン）ストレージの大容量化（OneDrive整備）

多様なサービスの拡充
・情報教室端末の新機種導入、起動時間の短縮化
・スキャンができる複合機を各校地に新設
・DoKoDeMoプリンタにて直接USBメモリからファイルを印刷可能
・無線LANエリアの拡張、高速化（高速Wi-Fi規格11ac対応）
・マルチメディアラウンジ、メディア工房端末の新機種導入

1

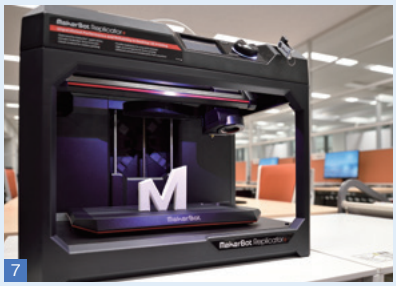
2

3


4

5

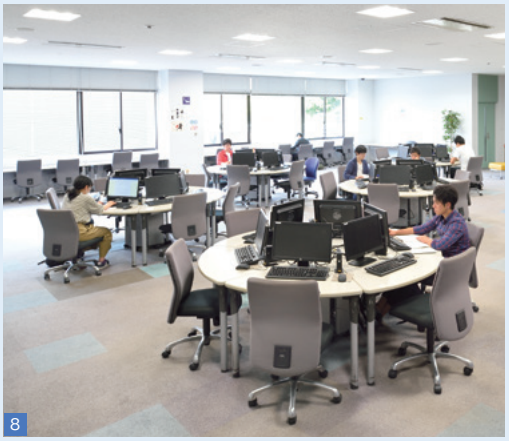
6


7

Imadegawa

①情報教室（良心館）
②PC コーナー（寧静館）
③PC コーナー（良心館ラーニング・コモンズ）
④マルチメディアラウンジ（良心館ラーニング・コモンズ）
⑤PC ロッカー（良心館ラーニング・コモンズ）
⑥DoKoDeMo プリンタ（良心館ラーニング・コモンズ）
⑦3D プリンタ（マルチメディアラウンジ）

INFORMATION
情報教育環境リプレース2018

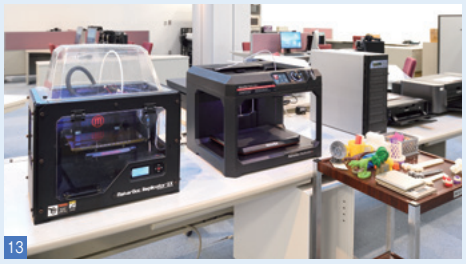

8

9

10

11

12


13

Kyotanabe

⑧PC コーナー（情報メディア館）
⑨情報教室（情報メディア館）
⑩DoKoDeMo プリンタ（情報メディア館）
⑪全学ネットワークシステム（頌真館サーバールーム）
⑫マルチメディアラウンジ（ローム記念館）
⑬3D プリンタ（マルチメディアラウンジ）

神学部

村山 盛葦（むらやま もりよし）ゼミ【神学部教授】

史的イエスを徹底的に考察し歴史に対する判断力現代社会への批判力を培い人生の在り方を見出してほしい

村山盛葦教授の専門領域は新約聖書学・初期キリスト教である。イエスの言行を記した福音書から史的イエスを探究し、書簡に基づく歴史的観点からパウロ像を研究することによって最初期のキリスト教を考察している。本ゼミでは福音書研究というテーマの下に、今期は史的イエスの「たとえ話」を取り上げている。これらは、『種を蒔く人』『善きサマリア人』『放蕩息子』など数多くの簡潔な物語で神の国を説いたものであり、いずれも当時の人々の聞く力に応じた分かりやすいものである。「ただし、福音書の中で最古のものとされている『マルコによる福音書』でも、イエスがエルサレムで十字架の刑に処せられてから約40年後に書かれたと推定されています。ですから、マルコが自分なりの解釈を加えて記述した部分、イエスの口を通じてマルコの時代の信徒に自己のメッセージとして伝えているものが含まれていると推察しています。本ゼミでは、この『たとえ話』を史的な観点から的確に分析し、明確に分化するという聖書学的な方法で読み解いていきます。全てが普遍的なものであり、今日に置き換えて再考することができます。ゼミ生に何よりも培ってほしいのは、歴史に対する判断力、現代への批判力です」。本ゼミでの学びは2千年前のギリシャ・ローマ世界への理解を深め、現代社会が直面する諸問題への独自の視点、個々の人生の在り方を見出すために、必ず役立つと村山教授は確信している。

取材当日、本ゼミに出席したゼミ生は5人（男性2人、女性3人）。博士課程（前期）1年次生でTAとして参加している藤井和人さんは、高校卒業後にJR西日本に入社し、運転士の仕事に就いていた。「鉄道が好きで選んだ道でしたが、次第にこのままの人生で良いのかと自問するようになり、聖書を再読するようになりました。両親がクリスチャンで、私も少年の頃から教会に通っていたので、神学は身近なものだったのです」。自身の生き方を真剣に模索する中で、改めて手にした聖書の一字一句が心に深く響いたという。そこに自分が探し求めていた世界を見出した藤井和人さんは、牧師を目指して勉学に励んでいる。4年次生の吉本実代さんは、高校で選択した世界史の授業が神学部を選ぶ契機になった。「なぜ、これほど多くの人々がキリスト教を信仰しているのか。その背景となる歴史や文化も含めて専門的に学びたいと思ったのです」。史的イエスの観点に立ち、現代の視点から福音書を読み解く本ゼミは非常に興味深く、この探究が現在の最大の関心事になっている。

小学校からカトリック系のミッション・スクールで学んだ4年次生の大槻聖神愛さんは、家庭がプロテスタント系であり、その教えの違いを自分なりに考え続けてきた。「このテーマを突き詰めるために、大学で宗教を幅広く学びたいと思い、それができる本学の神学部を選択しました。本ゼミでは史的イエスの視点から聖書を解読する訓練ができ、先生やゼミ生の異なる解釈を知ることで新たな気づきが得られ、大きな糧になっています」。大学院でさらに聖書学を探究する予定である。3年次生の石田香織さんは、高校1年生の時に洗礼を受け、キリスト教を深く学ぶために神学部へ入学した。本ゼミで探究する史的イエスは教会での教えと異なる点もあり、興味は尽きないと語る。約40年前に本学の文学部で学んだ鳥井新平さんは、今年改めて神学部3年次に編入した。将来、牧師になるためである。日本基督教団に新風を吹き込み、その発展に貢献したいと意気込んでいる。「本ゼミを選択したのは、小学校教師の時代の教え子で本学の神学部へ進んだ学生たちに村山教授を薦められたからです。本ゼミでは、どのような問に対しても、的確で含蓄のある言葉が瞬時に返ってきます。しかも、実に気さくで、懐が深い。素晴らしい先生に出会えたと思っています」。鳥井新平さんが取り組んでみたいテーマは「部落解放とキリスト教」。これを「人間を自由にするのは何か」という観点から研究したいと考えている。

心理学部

大屋 藍子（おおや あいこ）ゼミ【心理学部助教】

心理学は「生きていくこと」に直接関わる学問であり人々を支援する有効なツール その学びを社会に役立ててほしい

大屋藍子助教の専門領域は行動分析学である。人間の心理を行動と環境の相互作用の観点から分析・予測し、これに基づいて対象に介入して対人援助を行う。現在は糖尿病や肥満症患者への心理・社会的支援、行動変動性の増大に関する研究をテーマに、大阪の病院で臨床心理士としてチーム医療にも参画している。「大阪での糖尿病・肥満症への臨床は３年前から週１回の割合で行っています。例えば、糖尿病の患者さんは食事の制限や減量などをしなければならず、大きなストレスがかかります。これに対して心理学的な動機づけを行い、対処の仕方を示すことによって、心身の負担を乗り越え、改善に向けて積極的に取り組めるように支援しています。私にとって臨床と研究は一体化したものです」。大屋助教は心理学を「生きていくこと」に直接関わる学問であり、人々の日々を支えることのできる効果的なツールだと考えており、確かな手応えとやりがいを感じている。

本ゼミでは各自が関心を持っている、人の心理を行動分析学の観点から深く探究し、その成果を社会の各分野で積極的に活かし、貢献することを主眼にしている。「今日が本ゼミの初回であり、これからゼミ生たちの様子などを確認しながら柔軟に進めていくつもりです。形式としては、３年次生の間は多彩な先行研究から各自が主体的にテーマを選定し、これを自身の視点で改めて考察したものを発表してもらい、それに基づいて全員で討議するスタイルを想定しています。発表者は１回２人。時間は質疑応答も含めて各30分程度。その後、さらに全員でディスカッションを行い、学びを深めていきたいと思っています。適宜、行動分析学の研究手法や研究トピックについても講義を行うつもりです」。このような展開の中で、それぞれが取り上げたい卒業論文のテーマを探り、４年次から３人１チームによる共同研究で卒業論文に取り組む予定である。大屋助教が特に重視しているのは、ゼミ生の活発な発言である。これを実現するために、自身の研究テーマである行動変動性も積極的に応用したいと語る。「各自が試行錯誤をすることによって新規行動が拡大します。思い切って発言したことが認められるという成功体験を実感してほしいのです」。これも本ゼミの研究に直結する貴重な学びの一つになると考えている。

取材当日は、まず大屋助教も含めてゼミ生全員が「この夏にしたこと」をテーマに近況を報告。続けて次回からの本ゼミの進め方などについてのオリエンテーションが行われ、後半は本年９月下旬に開催された日本心理学会第82回大会での大屋助教の発表テーマ「行動変動性の増大と正の強化を受ける機会の拡大」の概要を紹介。初回ではあったが、その内容に関して活発な質問が続いた。現在、大屋ゼミに所属するゼミ生は３年次生12人（男性６人・女性６人）である。大月摩耶さんはテレビドラマなどで知った犯罪心理学や犯人の動機や行動パターンを推理・分析するプロファイリングなどに強い関心を抱き、高校１年生の時には「大学で心理学を学ぶ」と決めていた。本ゼミを選んだのは、入学後に着目した行動分析を探究したかったからである。大屋助教の臨床心理士の仕事に興味を覚えたことも動機となった。「私は対人関係が苦手なので、ゼミの発表ではこれに関連するテーマを選びたい。また、討議などを通じて、この自身の弱点も改善できればと思っています」。本学で

の学びを就職した企業で活かしたいと考えているが、もう一つの展望として日本初の心理職の国家資格・公認心理師の資格取得も視野に入れている。吉岡拓真さんがこの分野に眼を向けるきっかけになったのは、関西の様々な大学が集まって行われた進学イベントで模擬講義の一つとして行われた「アニメと心理学の関連性」であった。大好きなアニメと心理学という切り口が斬新でインパクトがあったという。「心理学は非常に奥が深く、難しく感じる時もありますが、やりがいに満ちた世界です。ゼミでの発表や討議、４年次からの共同研究にも全力で取り組みたいと思っています」。さらに探究を続けるために、大学院に進む予定である。

持続可能な社会の創出に大きく貢献する 中小企業の卓越したマネジメントを科学的に探究

2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、国際的なコンセンサスである。この目標達成に向けて全企業数の大多数を占める中小企業が担うべき役割は大きい。本年4月に設置された中小企業マネジメント研究センターでは、特に100年以上続く長寿企業に着目し、その存続と伸展を支える卓越した企業経営の新たな在り方を科学的に分析・考察することによって、日本はもとより世界の中小企業の発展に寄与し、持続可能な国際社会の実現に貢献したいと考えている。

中小企業マネジメント研究センター

センター長 **関 智宏**

【商学部教授】

2000年神戸商科大学商経学部飛び級、2006年神戸商科大学経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学。
出身地である山口県宇部市で企業城下町の衰退を高校時代に体験し、大企業と下請中小企業群との関係の在り方に強い問題意識を抱いたのが、現在の中小企業研究の契機となる。オフタイムは胎動するクラフトビールを愛飲し、これをテーマにした企業論も構想中である。

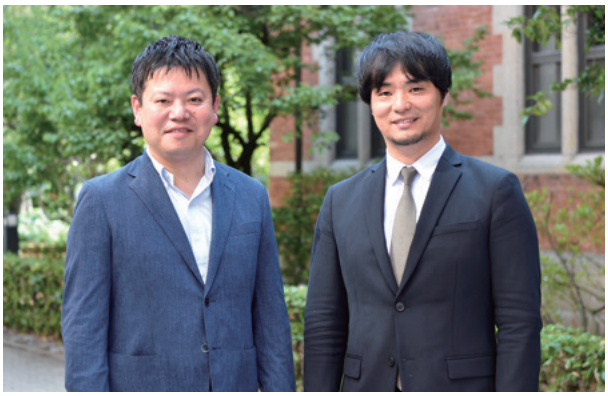
SDGs に役立つファクターを読み解く

日本の中小企業は全企業数の中で 99.7% を占め、従業員数も 60~70% に達しており、日本の経済社会において大きな役割を担っている。しかし、その実態は十分に理解されておらず、社会的な評価は低い。「日本は 1950 年代半ば頃から高度成長期に入りますが、この頃に政府が経済成長という国家目標の達成のために大手企業を中心に政策展開したことにより、『日本経済を牽引するのは大企業』だという社会通念が形成されました。これが現在まで受け継がれて、中小企業の価値が貶められる起因になったと考えています」。問題なのは大多数の中小企業が社名も事業内容もほとんど国民に認知されていないことであり、今日の最大の課題であると関智宏センター長は指摘する。

中小企業の中には傑出した企業力を発揮し、発展し続けている企業が数多く存在している。その象徴が創業以来 100 年以上の歴史を誇る長寿企業であり、世界的にも注目されている。「このような『100 年企業』の長寿の要因を科学的に分析し、卓越した経営の在り方を考察することは、日本の中小企業の存立維持や社会的認識の向上に寄与するだけでなく、世界各国の中小企業研究にも大きく貢献するものであると確信しています」。2015 年に国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択された。これは国連加盟 193 カ国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成を目指す国際目標であり、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットで構成されている。長寿企業の探究は、この世界的なコンセンサスに合致するものであり、本研究センターでは「持続可能な開発目標（SDGs）」に役立つファクターを読み解き、全世界に発信したいと考えている。

長寿企業の理念に学ぶ永続の秘訣

本研究センターの嘱託研究員として共同研究に参画している藤村雄志研究員は、一般社団法人「100 年経営研究機構」の専務理事・事務局長を務めており、2001 年からベンチャー企業の支援にも力を注いできた。「100 年以上続く日本の企業は 25,321 社（2014 年末現在）を超え、世界の 100 年超企業の約 40% を占めています。毎年、視察ツアーで訪問している石川県の老舗旅館も 1300 年の歴史を誇る日本屈指の老舗です。46 代目のご当主に企業永続の秘訣をお尋ねしたのですが、一瞬の沈黙を経て返ってきた言葉は予想外のものでした。『そのようなことよりも、私が今気がかりなのはパリ協定だ』とおっしゃったのです。気候変動抑制に関する国際的協定の進捗状況を何よりも注視しておられる姿に、代々受け継がれてきた共生への深い思い、利益に優る価値にこだわる老舗企業の矜持に感銘を受けました」。経営哲学は企業永続の根幹をなすものであり、江戸時代に商いの道を説いた「石門心学」の始祖・石田梅岩の教えなども企業理念の形成に多大な影響を与えてきたと、長寿企業の歴史をふり返る。また、創業家などが経営（所有）するファミリービジネスも日本の「100 年企業」の特徴であり、守り継がれる事業継承や事業戦略、ガバナンスの在り方にも学ぶ点は多いという。



（写真右：センター設立以来、センターのマネジメントに関わる藤村雄志嘱託研究員）

新たな国際的研究拠点の確立を目指す

「サステナビリティ（持続可能性）」という概念が普及する中で、企業投資においても変化が起きている。企業の長期的な成長のためには環境（Environment）、社会（Society）、ガバナンス（Governance）の観点が不可欠だという視座に基づき、この 3 つの頭文字を取った ESG 投資が重視されている。「次世代を担う大学生の考え方にも、新たな傾向が生じています。社会的課題の解決に貢献する次代型企業で活躍したいという声を数多く耳にするようになりました。これは有能な人材を確保したい中小企業にとって大きなチャンスだと考えています。彼ら彼女たちが求めているのは、明確なビジョンに裏付けられたリーダーシップであり、果敢なチャレンジ精神で時代を先取りできる経営者です」と、関智宏センター長は語る。

本研究センターでは、今年 4 月に延世大学校経営大学の李志滿教授と京都の老舗「三嶋亭」の三嶌太郎氏を講師に招き、第 1 回研究会を開催。7 月にも近畿経済産業局中小企業政策調査課による講演を実施した。今後も SDGs をメインテーマに研究会などを継続開催しながら研究員の充実化を図り、考察対象も欧米諸国から東南アジアまで拡大する予定である。同志社大学は中小企業研究の中核として日本全国に数多くの中小企業研究者を輩出してきた。この歴史を礎とした新たな国際的研究拠点の確立を本研究センターは目指している。

来年度就職を目指す皆さんへ

「充実した学生生活と十分な準備を」

就職を取り巻く状況

現4年生（2019年4月採用）の就職活動スケジュールは昨年同様となり、企業の広報活動の開始時期が3年生の3月から、採用選考活動の開始時期が4年生の6月からとなりました。ただし、経団連加盟企業も含めてこの日程によらない企業も多数ありました。学生の「売り手市場」が続き、人材の獲得競争が過熱するなか、企業の動きが早期化した一方、準備不足のまま就職活動本番に突入してしまった学生も多くいたようです。結果として、「売り手市場」と言われる状況にもかかわらず、7月以降も活動を継続する学生が少なからず存在しました。

キャリアセンターでは、昨年10月上旬に第1回就職ガイダンスを開催し、現3年生への就職支援を開始しました。そこでは前年度の反省を踏まえて、事前準備の大切さをお伝えしましたが、2月までの就職活動準備期間に様々な準備が必要となります。インターンシップに参加することだけが準備ではありません。学内の様々なセミナーを中心に、自己分析、業界研究、仕事研究を行い、自身のキャリアについて考え抜いてください。この準備期間をしっかり過ごすことが就職活動を成功に導き、将来、自身の個性を活かして活躍できる場を見つけるために大切です。2019年3月には、今出川に約630社、京田辺に約450社と全国の大学でも有数の規模で学内企業研究セミナーを開催します。このセミナーには、幅広い業界、地域から、規模も様々な企業が、同志社大学生を採用したいと参加されますので、ここで出来るだけ多くの企業の説明を聞き、志望業界や企業を的確に絞り込んでください。また、キャリアセンターでは学生1人ひとりの個性を活かすため、各種セミナーの他、個別相談にも力を入れていますので、積極的に利用してください。

現4年生の採用状況については、全般的には好調のうちに推移していると見ています。リーマンショック以降「厳選採用」が定着してきましたが、景況感の改善等により、今年も「売り手市場」と言われています。しかし、多くの企業では基準を下げてまで採用していません。グローバルな経済環境の中で国際競争に勝ち抜くためには、企業の発展を支える次世代を担う人材を確保する必要があり、そのために「厳選採用」の姿勢が堅持されています。企業は単に数合わせで採用しているのではなく、「コアになる人材がほしい」と考えているのです。

近年では一人で複数の内々定を得る学生がいる一方で、なかなか内々定を得られず、長期化を余儀なくされる学生もいるといった二極化傾向がより顕著になってきました。先輩達の就職活動を終えてのアンケート調査を見ると、応募先選択段階での反省点として、「知名度にこだわりすぎた」「職種にこだわりすぎた」「勤務地にこだわりすぎた」、面接・試験段階での反省点として、「志望動機があいまい」「自己分析が不充分」「自己PRの不足」「SPI、一般常識の勉強不足」があげられています。「売り手市場」であっても、自己分析や業界・企業研究の不足、勉強筆記試験の準備不足、自己のイメージだけで就職活動を行ったことで苦戦したケースも見受けられます。学内セミナー、講座等（次頁参照）を積極的に活用し、早目に準備することが大切です。また、消費者の目に触れない企業であっても業績を伸ばし、発展している企業は数多くあります。就職活動が長期化した学生も就職活動を進めるうちに自分に合った企業を見る視点が定まり、最終的には満足のいく就職先を決定しているケースも多くあります。目先の企業選びではなく、自分自身がどのような道を歩みたいのか、早い段階から働くという視点を持って考えてください。

企業の求める人材

それでは、企業はどのような人材を求めているのでしょうか。経済産業省が、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力を「社会人基礎力」として提唱しています。「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」、「チームで働く力（チームワーク）」の3つの基礎的な能力から構成されると定義付け、その3つの能力を主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、情況把握力、規律性、ストレスコントロール力の12の要素に区分しています。この12の要素のうち最も重要だと考えられる要素として、企業は「主体性」と「実行力」を挙げています。経団連が実施したアンケートによりますと、企業が選考時に重視する能力の1位は14年連続で「コミュニケーション能力」でした。2位以下は「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」と続いています。企業が新卒の学生に求める力は、「コミュニケーション能力を有しつつ、自ら主体的に行動し、実行する力」と集約できるでしょう。誤解しないでほしいのは、「コミュニケーション能力」は友人との会話ができるということではありません。グローバル化が進展する中で、語学力を評価する企業が増えていますが、単に「語学が得意」だけでは評価されません。社会人基礎力を備えた上での語学力、すなわち様々な価値観を持った人たちの意見を傾聴し、その上で自分の意見を発信できる力が必要とされているのです。

充実した学生生活を

社会人基礎力を身につけるためには、何事にもチャレンジすることが大切です。授業はもとよりクラブ・サークルやボランティア活動あるいはアルバイトを含め、自分の興味・関心のあるものを見いだし、それに真剣に取り組み達成感を味わうこと、失敗や挫折を経験することが自らを一回りも二回りも成長させます。そしてそのような行動をとる中で、自ずと社会に向ける目も広がり、多くの人と関わることで「人間力」が磨きあげられます。様々な経験を積み重ねることが卒業後の人生を豊かにするとともに、その過程でいろいろな気づきをして成長した学生に企業は魅力を感じ、結果として、就職活動における評価にも繋がります。漫然とした日々を送るのではなく、常に何かにチャレンジする充実した学生生活を送ってください。

来年度就職を目指す皆さんへ

皆さんが就職する目的は、「社会での自立」、「社会参加による貢献」、「能力を生かした自己実現」などになるかと思いますが、そのためにはまず、自分自身を知ること（自己理解）が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業で実現できるのか、自分の力がどのように職場で発揮できるのか、既に就職活動を進めている方も今一度熟考してください。それを考える手段として、学内セミナー、企業セミナー等への参加やOB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切です。これらを経て、自分のやりたい職業、働きたい企業を見いだし、業務内容をよく調べ、「自分はこの会社でどのように働きたいか」を話せるようにしておくことがポイントです。採用担当者は、面接などのやりとりから、熱意、主体性、コミュニケーション能力、問題意識や行動力を見極め、「一緒に仕事をしたい人物か」どうかを判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず発見できるはずです。今、知っている企業が自分にとって良い企業とは限りません。自分が仕事をする上で、マッチする企業をこれから見つけていってほしいと思います。自分を信じて前向きに就職活動にチャレンジしてください。

今年度就職活動をした先輩からのメッセージ

（「2018年度 就職に関するアンケート」から）

就職活動は企業との相性が合うかどうか。不採用になったとしても、その企業とは相性が合わなかっただけで、自分自身が否定されているとは思わないこと。必ず自分に合った企業はある。そのためにも就職活動の軸はしっかり決めておくべき。たとえ受けている企業の業界がバラバラでも、軸がしっかりしていれば、面接の場でプラスの評価に変えることもできる。

文化情報学部　男性

既に行きたい業界が絞れていても、早期から敢えてたくさんの業界を見ることが大切かなと思いました。たくさんの業界を見ることで、新しい企業に出会うことは勿論、より行きたい業界への思いが強くなるキッカケにもなるのではないでしょうか。

社会学部　男性

3月の解禁前にエントリーシートに書くことや志望業界をある程度固めておいた方がスタートダッシュがしやすいかなと思います。そのためにも3回生の暇な間にインターンシップや学校で開かれる企業のセミナーに気軽に参加してみるのをお勧めします。

法学部　女性

自己分析をすることが、とても大切だと感じました。学生時代何を頑張ってきたのか、また何故力を入れたのか、何を得てそれをどう活かして行くのかを明確にする事が大切だと思います。周りと比べてしまい、焦る時期もありましたが、自分らしく時には息抜きをとって頑張ってください。

文学部　女性

初めは業種や職種にこだわらず、色々な企業を自分の目で耳で見聞きし新しい発見をどんどんしていってほしいと思います。思いがけない企業が自分の就職活動の軸とマッチしたり、色々な方と出会えたりすることができ、絶対に損はないと思います。自分のやりたいことができる企業がきっと見つかると思うので、最後まで自分の軸を大切に頑張ってください。

総合政策科学研究科　女性

自己分析をしっかりすること。性格などはもちろん、過去のエピソードはしっかりと準備しておいたほうが本番では焦らないし、しっかりと答えることができる。自分が思っている以上に20数年間の中でたくさんのことを経験しているので、小さなことでも一つひとつ思い返して、重要な出来事は忘れないうちにメモをしておくことを強くお勧めします。

経済学部　女性

自己分析をじっくりと時間をとって行うことが最も重要です。エントリーシートから最終面接まで自分自身への理解の深さが結果を左右すると思います。自己分析はぼんやりとしてやり方もよくわからないかもしれませんので、その時はキャリアセンターなどで一度相談してみてください。あとはコツコツやっていれば自然と結果は伴いますので、めげずに頑張ってください。

理工学部　男性

エントリーシートは先輩やキャリアセンターを活用してみてもらうといいと思います。SPI試験に関しては早いうちから参考本を一周することを勧めます。

理工学研究科　男性

早い段階から準備をすることはとても大切です。たくさんの人と関わり多くの情報を得ると共に、自分自身についてもしっかり深掘りをすることで、果たして自分はどんな業界で、どんな会社で、どんな関わり方で、どんな仕事をしたいのかを判断する材料が得られます。後悔のない就職活動を送ってください。

理工学研究科　男性

自己PRと志望動機、この2つだけは何分でも話せるくらい用意をしておくと、面接の時にどんな質問が来ても対応できると思ったので、この2つの掘り下げは深くやっておくべきだと思います。

生命医科学部　女性

今後のスケジュール

詳細・追加・変更については、キャリア支援システム「e-career」、キャリアセンター掲示板で随時お知らせします。

セミナー名	開催時期（今出川）	開催時期（京田辺）
第2回就職ガイダンス（参加必須）	2月19日（火）2,3講時 2月20日（水）3講時	2月18日（月）3講時 2月19日（火）3講時
自己分析セミナー	2月19日（火）4講時	2月18日（月）4講時
エントリーシートセミナー	2月19日（火）5講時	2月19日（火）4講時
四季報・業界地図・新聞の読み方セミナー	2月20日（水）4講時	2月22日（金）4講時
業界研究（各論）セミナー	開催中～1月中旬	開催中～1月中旬
仕事研究セミナー ・企画の仕事 ・営業の仕事 ・国際関係の仕事 ・人事が語る採用基準	 11月14日（水）3講時 12月17日（月）3講時 1月 9日（水）3講時 2月22日（金）3講時	 11月14日（水）5講時 12月17日（月）5講時 1月 9日（水）5講時 2月22日（金）5講時
企業研究セミナー （約1000社の個別企業説明会）	3月1日（金）～ 3月12日（火）※日除く	3月1日（金）～ 3月12日（火）※土日除く
学内企業セミナー	6月以降検討	6月以降検討

セミナー名	開催時期（今出川）	開催時期（京田辺）
自己分析セミナー【実践編】	11月16日（金）3,4,5講時 1月22日（火）4,5講時	11月15日（木）3,4講時 2月21日（木）3,4講時
人事担当者による面接のポイントセミナー	2月下旬	2月下旬
エントリーシート講座	開催中～4月	開催中～4月
面接講座	1月～	1月～
グループディスカッション対策講座	2月下旬	2月下旬
公務員業務説明会	12月、4月	12月、4月
大学院生のためのガイダンス	11月7日（水）5講時	11月9日（金）4講時
Uターン・Iターンセミナー	12月3日（月）2,4講時	12月4日（火）2,4講時
Uターン・Iターン相談会	12月3日（月）3,4,5講時	12月4日（火）3,4,5講時
就職活動体験談を聞く会	12月～1月	12月～1月
内定者相談コーナー	12月～2月	12月～2月

※10月以前開催のセミナーにつきましては、「e-career」で視聴可能なセミナーもございます。URL からご確認ください。　https://career.doshisha.ac.jp/shushoku/saishin.html

個別相談コーナー（両校地）

キャリアセンターでは、経験豊かなキャリアアドバイザーやキャリアセンタースタッフが、進路や就職活動に関する悩みや疑問等の相談に対応します。どんなことでも構いませんので、気軽に利用してください。

同志社校友会パリ大懇親会

新入下宿生交流会

朝食倶楽部

同志社校友会活動、同志社大学との連携

世界に広がる「同志社ネットワーク」
これまで33万人の校友会員が国内外で活躍

同志社校友会

同志社創立から10年後の1885年（明治18年）に「アルムニ（Alumni）会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。これまで約33万人の校友会員が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

同志社校友会基本方針

同志社校友会は、同志社の発展に寄与するという目的を掲げ、支部の基盤を強化し、大学事業支援、学生支援、卒業後の社会人活動支援に軸を置いて活動を行っています。近年は海外支部との連携も深まり、大学のグローバルな展開の支援も行っています。

同志社校友会会長
井上 礼之
昭和32年経済学部卒業
ダイキン工業株式会社
取締役会長 兼
グローバルグループ
代表執行役員

主な社外歴
日本経済団体連合会　常任幹事
関西経済同友会　代表幹事（平成11年～平成13年）
関西経済連合会　副会長（平成13年～現在）
阪急阪神ホールディングス（株）、関西電力（株）、
（株）大阪国際会議場、テレビ大阪（株）四社の社外取締役　等

校友会活動を通して、学生生活だけでなく卒業後もサポートしています。

学生の皆さんへ

キャンパスライフでのサポート

①各種奨学金制度（給付型）
- 同志社校友会奨学金
- 同志社スポーツ奨学金
- 同志社校友会グローバル人材育成奨学金（海外留学支援）

②学生緊急支援制度（学生セーフティーネット）
様々な理由により経済的に学業の継続が困難になった場合に、大学と連携して緊急支援を行います。

③大学連携事業
ひとり暮らしの学生を対象にした懇親会企画やサポート企画、毎週1回「100円」でおいしい朝食を学食で提供する「朝食倶楽部」への支援など、大学と連携しながら学生の皆さんのキャンパスライフが豊かになるよう支援を行っています。

④京田辺活性化支援

⑤学生課外活動支援
支部総会や地方でのイベントなど校友会とクラブが連携して行う活動の支援や、クラブ課外活動の告知サポートなど。

⑥学生海外活動支援
海外の支部や校友会員の企業を拠点として、留学生活サポートや海外インターンシップを応援します。

⑦国内外支部との連携
地元への就職や新しい土地への赴任先の最新の情報にアクセスできるよう、国内外支部連携や活動を支援しています。

卒業後のサポート「校友会のネットワーク」を活かす!

就職や転職の情報が知りたい！就職、転職、転居が決まった！そんな時は「その地域の支部」に連絡してみてください。あなたの先輩がいろんな情報を教えてくれます。

そして同志社を卒業したあなたは「校友会員」です。「同志社校友会大懇親会」や支部の企画に参加してみましょう。諸先輩から有用な情報や、時には適切な人脈を紹介してもらえるかもしれません。ビジネスだけでなく趣味や生活など「ここだけの校友会情報」がたっぷり。

同志社校友会のネットワークは学生の皆さんの「キャンパスライフ」と卒業後の「同志社ライフ」が豊かになるよう、ワールドワイドに展開しています。

世界に広がる「同志社ネットワーク」

http://www.doshisha-alumni.gr.jp/（2018年10月24日現在）

会員情報の変更・会費についてのお問い合わせはこちらまで。
TEL：075-251-3087　E-mail：info04@doshisha-alumni.org
http://www.doshisha-alumni.gr.jp/kaiin/about.html　担当：田遠（たとう）

国内支部（48支部）

北海道支部　TEL：011-382-2188
E-mail：info@hokkaido.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://hokkaido.doshisha-alumni.org

青森県支部　TEL：090-4044-7071
E-mail：info@aomori.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.aomori.doshisha-alumni.org

岩手支部　TEL：090-1376-7374
E-mail：info@iwate.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.iwate.doshisha-alumni.org

宮城県支部　TEL：022-378-1253
E-mail：info@miyagi.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.miyagi.doshisha-alumni.org

秋田県支部　TEL：018-823-0730
E-mail：info@akita.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://akita.doshisha-alumni.org

山形県支部　TEL：023-622-7195
E-mail：info@yamagata.doshisha-alumni.org

福島県支部　TEL：0248-25-2046
E-mail：kohituzi@triton.ocn.ne.jp
HPアドレス：http://doshisya7.main.jp

茨城県支部　TEL：0297-83-5630
E-mail：info@ibaraki.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://ibaraki.doshisha-alumni.org/

栃木県支部　TEL：028-622-8844
E-mail：info@tochigi.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.tochigi.doshisha-alumni.org

群馬県支部　TEL：0270-65-1684
E-mail：info@gunma.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.gunma.doshisha-alumni.org

埼玉県支部　TEL：090-5318-7340
E-mail：info@saitama.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.saitama.doshisha-alumni.org

千葉県支部　TEL：047-337-0893
E-mail：info@chiba.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.chiba.doshisha-alumni.org

東京支部　TEL：03-5579-9728
E-mail：office@doshisha-tokyo-alumni.jp
HPアドレス：http://doshisha-tokyo-alumni.jp/

神奈川県支部　TEL：0467-70-2447
E-mail：info@kanagawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://kanagawa.doshisha-alumni.org

山梨県支部　TEL：090-6158-1058
E-mail：info@yamanashi.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.yamanashi.doshisha-alumni.org

長野県支部　TEL：026-259-8610
E-mail：info@nagano.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.nagano.doshisha-alumni.org

新潟県支部　TEL：025-247-7117
E-mail：info@niigata.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.niigata.doshisha-alumni.org/

富山県支部　TEL：076-421-8585
E-mail：info@toyama.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.toyama.doshisha-alumni.org

石川県支部　TEL：076-266-0555
E-mail：info@ishikawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.ishikawa.doshisha-alumni.org

福井県支部　TEL：090-3767-8114

岐阜県支部　TEL：058-214-9000
E-mail：info@gifu.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.gifu.doshisha-alumni.org

静岡県支部　TEL：054-237-5181
E-mail：info@shizuoka.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.shizuoka.doshisha-alumni.org

愛知支部　TEL：0562-83-3460
E-mail：sen.kataoka@ma.medias.ne.jp
HPアドレス：http://www.doshisha-aichi.com/

三重県支部　TEL：0595-96-0909
E-mail：info@mie.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.mie.doshisha-alumni.org

滋賀県支部　TEL：077-579-8601
E-mail：info@shiga.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.shiga.doshisha-alumni.org

京都支部　TEL：090-6489-9697
E-mail：info@kyoto.doshisha-alumni.org

大阪支部　TEL：06-6308-2288
E-mail：info@osaka.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.doshisha-osaka.jp/

兵庫県支部　TEL：078-232-7100
E-mail：info@doshisha-hyogo.org
HPアドレス：http://www.doshisha-hyogo.org/

奈良県支部　TEL：0742-27-1550
E-mail：info@nara.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.nara.doshisha-alumni.org

和歌山県支部　TEL：073-432-5776
E-mail：info@wakayama.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.wakayama.doshisha-alumni.org/

鳥取県支部　TEL：0859-24-0551
E-mail：info@tottori.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.tottori.doshisha-alumni.org

島根県支部　TEL：0852-28-5898
E-mail：tewt181@ezweb.ne.jp

岡山県支部　TEL：090-3746-5612
E-mail：info@okayama.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.okayama.doshisha-alumni.org

広島県支部　TEL：082-942-2273
E-mail：info@hiroshima.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.hiroshima.doshisha-alumni.org

山口県支部　TEL：0827-31-9346
E-mail：horiuchi@sky.icn-tv.ne.jp

徳島県支部　TEL：088-653-0002
E-mail：fc8j6p@bma.biglobe.ne.jp
HPアドレス：http://www.tokushima.doshisha-alumni.org

香川県支部　TEL：087-891-9213
E-mail：info@kagawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.kagawa.doshisha-alumni.org

愛媛県支部　TEL：080-6385-7545
E-mail：info@ehime.doshisha-alumni.org

高知県支部　TEL：088-884-1703
E-mail：harimaya@isis.ocn.ne.jp

福岡支部　TEL：092-632-8222
E-mail：fukuoka.doshisha@gmail.com
HPアドレス：http://doshisha-fukuoka.com

北九州支部　TEL：093-621-3646
E-mail：info@kitakyushu.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.kitakyushu.doshisha-alumni.org

佐賀県支部　TEL：0952-62-1198
E-mail：info@saga.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.saga.doshisha-alumni.org

長崎県支部　TEL：095-825-1723
E-mail：info@nagasaki.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.nagasaki.doshisha-alumni.org

熊本県支部　TEL：096-243-1221
E-mail：info@kumamoto.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.kumamoto.doshisha-alumni.org

大分県支部　TEL：097-574-7225
E-mail：info@oita.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.oita.doshisha-alumni.org

宮崎県支部　TEL：0985-51-3067
E-mail：info@miyazaki.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.miyazaki.doshisha-alumni.org

鹿児島県支部　TEL：099-202-0732
E-mail：info@kagoshima.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.kagoshima.doshisha-alumni.org

沖縄県支部　TEL：098-933-9956
E-mail：info@okinawa.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.okinawa.doshisha-alumni.org

海外支部（31支部）

ニューヨーク同志社会
E-mail：nydoshishakaijimukyoku@gmail.com
HPアドレス：http://www.ny.doshisha-alumni.org

ワシントンDC同志社会
E-mail：info@washington.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.washington.doshisha-alumni.org

米国中西部支部
E-mail：info@us-midwest.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.us-midwest.doshisha-alumni.org

米国西部支部
E-mail：info@us-west.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.us-west.doshisha-alumni.org

同志社トロント会
E-mail：doshisha.toronto@gmail.com
Facebook：https://www.facebook.com/groups/519684948123907/

カナダ同志社バンクーバー会
E-mail：doshishavancouver@hotmail.com
Facebook：https://www.facebook.com/groups/872835306084224/

ブラジル・サンパウロ同志社会
E-mail：info@sp-brasil.doshisha-alumni.org

韓国校友会
住所：05607 Lake Palace 125-1803,88,
Jamsil-ro, Songpa-gu, Seoul, Republic of Korea

香港支部:香港クローバー会
E-mail：doshisha_hk@yahoo.co.jp

北京クローバー会
E-mail：atsushi.okushima@horiba.com
HPアドレス：http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh#!untitled/c1095

大連同志社クローバー会
E-mail：huaqing_wang1111@yahoo.co.jp

同志社大学上海クローバー会
E-mail：doshishash@gmail.com
HPアドレス：http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh

広州クローバー会
E-mail：miyazaki@his-gz.com

青島クローバー会
E-mail：info@qd-china.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.qd-china.doshisha-alumni.org

台湾支部
E-mail：kaoelisa888@gmail.com

同志社校友会ベトナム支部今出川倶楽部
E-mail：info@vietnam.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://www.vietnam.doshisha-alumni.org

フィリピン：マニラ・クローバー会
E-mail：info@manila.doshisha-alumni.org

タイ：泰国同志社クローバー会
TEL：6686-088-3291

マレーシア新島会
E-mail：kogure@durachem.com.my
HPアドレス：http://www38.tok2.com/home/masniijimakai/

シンガポール・クローバー会
E-mail：koji_kida@canon.com.sg

インドネシア・クローバー会
E-mail：yasuyuki.yamazaki@obayashi.ntt.net.id

オーストラリア・クローバークラブ シドニー支部
E-mail：taka_c_hk2010@hotmail.co.jp
HPアドレス：http://www.sydney.doshisha-alumni.org

オーストラリア・クローバークラブ ブリスベン支部
E-mail：info@brisbane.doshisha-alumni.org
HPアドレス：http://brisbane.doshisha-alumni.org/

トルコ：イスタンブールクローバー会
E-mail：minoru.iwamura@nipponpaint.jp

ドイツクローバー会
E-mail：doshishaclover@yahoo.com
HPアドレス：http://www.germany.doshisha-alumni.org

パリ同志社クローバー会
E-mail：doshishaparis@gmail.com
HPアドレス：http://www.paris.doshisha-alumni.org

同志社スペイン会
E-mail：info@pain.doshisha.org
HPアドレス：http://www.spain.doshisha-alumni.org

ロンドン・クローバー会
E-mail：atsukoconsole@gmail.com

フィレンツェクローバー会
E-mail：italia.clover.alumni@gmail.com

ミラノクローバー会
E-mail：takayuki.kamekawa@daikin.it

同志社校友会ミャンマー支部
E-mail：info@myanmar.doshisha-alumni.org

クリスマス・イルミネーション点灯式

アドベントを前に各地でクリスマスイルミネーションが灯り始めるころ、同志社大学でも点灯式を催しています。

今出川校地のツリーは、西門を入って北側に広がる、彰栄館・同志社礼拝堂・良心館に囲まれたサンクタスコートのヒマラヤスギが2014年からその役割を担い、京都の冬の風物詩として広く親しまれている今出川校地の点灯式に、新たな歴史を刻み始めました。

京田辺校地のツリーは、かつては知真館1号館前のヒマラヤスギを用いていましたが、2009年からは正門を入ってすぐのローム記念館前に植えられたモミノキがその役割を担っています。高さ15mのこのツリーは学外からも望むことができ、将来は京田辺の新たなシンボルとなることが期待されています。

今出川校地

11月19日(月)　17:15～17:45(予定)
西門北側サンクタスコート
ヒマラヤスギ周辺

京田辺校地

11月30日(金)　16:45～17:15(予定)
ローム記念館前

第143回 同志社EVE

同志社大学の創立記念日である11月29日を祝し、同志社大学生の手によって作り上げられる一大行事です。

EVE期間(11月1日～28日)の中でも、特に出店期間(11月26日～28日)は今出川キャンパス構内に関西屈指の規模を誇る出店やステージなどが立ち並び、同志社大学に賑やかさと活気が溢れます。

今年度のテーマ「Cha Cha Cha ～あなたらしくEVEらしく～」は、「Character」「Charm」「Challenge」の3つの「Cha」が同志社の校章のようにトライアングルとなり、今年度のEVEを体現しています。

このテーマをもとに、例年とはひと味違う新たな同志社EVEとなることを目指し、盛り上げていきます。

第143回同志社EVE パンフレット表紙

EVE出店期間 企画紹介

日にち	時間	企画	場所
26日(月)	13:00～14:00	オープニングセレモニー	ランダムステージ
	16:00～17:00	トークライブ	寒梅館ハーディーホール
27日(火)	11:30～12:00	Let's食time!	サンクンモール
	16:00～18:00	同志社M-1グランプリ	寒梅館ハーディーホール
	17:30～18:00	EVEストーリーは階段に。	サンクンモール
	18:00～19:00	EVE NIGHT CLUB	ランダムステージ
28日(水)	14:00～15:00	エンディングセレモニー	ランダムステージ

日にち	企画
26日(月)～28日(水)	EVE STAGE 場所 サンクンモール

WEBでCHECK!
課外活動総合WEBサイト「D-Live」

今すぐアクセス! 同志社 dlive 検索
http://www.d-live.info/

「D-Live」では、学生団体の活動やイベントの最新情報をご紹介しています。
ぜひアクセスして日程をご確認の上、応援やイベントへご参加ください。

DOSHISHA
SPORTS
www.d-live.info/sports/
体育会をはじめとした公認団体・登録団体のクラブ紹介や試合の日程をご覧いただけます。

DOSHISHA
CULTURE
www.d-live.info/culture/
文化系公認団体・登録団体のクラブ紹介や活動の予定をご覧いただけます。

2018年度 卒業式・学位授与式(学部・大学院)

日時		学部・研究科	場所
3月20日(水)	10:00	文学部・文学研究科	栄光館(今出川校地)
	12:30	法学部・法学研究科	
	15:00	神学部・神学研究科、社会学部・社会学研究科、グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュート	
3月21日(木・祝)	10:00	経済学部・経済学研究科	
	12:30	政策学部・総合政策科学研究科、グローバル・スタディーズ研究科、司法研究科、ビジネス研究科	
	15:00	商学部・商学研究科	
3月22日(金)	10:00	理工学部・理工学研究科	デイヴィス記念館(京田辺校地)
	13:00	文化情報学部・文化情報学研究科、生命医科学部・生命医科学研究科、スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、心理学部・心理学研究科、グローバル・コミュニケーション学部、脳科学研究科	

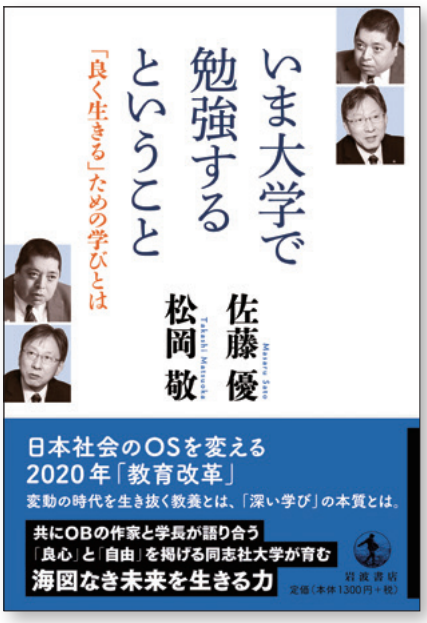
2019年度 入学式(学部・大学院)

日時		学部・研究科	場所
4月1日(月)	10:00	神学部、法学部、経済学部、心理学部、グローバル地域文化学部	デイヴィス記念館(京田辺校地)
	12:00	文学部、社会学部、政策学部、文化情報学部、スポーツ健康科学部	
	14:00	商学部、理工学部、生命医科学部、グローバル・コミュニケーション学部、国際教育インスティテュート	
4月3日(水)	10:00	全研究科	栄光館(今出川校地)

佐藤 優 × 松岡 敬 対談
(作家・元外務省主任分析官)(同志社大学学長)

『いま大学で勉強するということ「良く生きる」ための学びとは』

いま「大学」とは、「大学で勉強すること」とは何か、が問い直されています。共に同志社大学 OB である作家と学長が、同志社の教育を通じて、激動する社会を生き抜く人間の育成を語り合います。



価格 本体1,300円　岩波書店

同志社大学公式 Facebook
https://www.facebook.com/doshisha.university

同志社大学公式 twitter
https://twitter.com/DoshishaUniv_PR

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ（価格は税別）

福祉レジーム
宇佐見耕一 他 著　ミネルヴァ書房　2,800円

社会福祉学習双書 2018 第1巻 社会福祉概論I
埋橋孝文 他 編著　全国社会福祉協議会　2,400円

社会福祉学習双書 2018 第8巻 地域福祉論
上野谷加代子 他 編著　永田祐 他 著
全国社会福祉協議会　2,400円

民事手続法入門 第5版
川嶋四郎 他 著　有斐閣　2,100円

全・地球学
村田晃嗣 他 著　ウェッジ　9,000円

数値解析と表面分析によるトライボロジーの解明と制御
平山朋子 他 編著　テクノシステム　48,000円

ポスト・マハティール時代のマレーシア
鈴木絢女 他 著　アジア経済研究所　6,400円

会社法 第4版
伊藤靖史 他 著　有斐閣　2,900円

「ネコ型」人間の時代
太田肇 著　平凡社　800円

日本政治史の中のリーダーたち
森靖夫 他 著　京都大学学術出版会　4,800円

移民が紡ぐ日本
和泉真澄 他 著　文理閣　3,000円

大学スポーツの新展開
庄子博人　栁田昌彦 他 著　晃洋書房　2,400円

グローバル社会における高度教養教育を求めて
山田礼子 他 著　東北大学出版会　3,800円

1冊でわかるキリスト教史
村上みか 他 著　日本キリスト教団出版局　2,200円

総点検日本国憲法の70年
松本哲治　尾形健 他 著　岩波書店　3,500円

ことばを編む
越水雄二 他 著　開拓社　7,000円

評伝ゲルハルト・リヒター
清水穣 訳　美術出版社　4,600円

ユーリカ民法 2 物権・担保物権
梶山玉香 他 著　法律文化社　2,500円

政治家はなぜ質問に答えないか
オフェル・フェルドマン 他 著
ミネルヴァ書房　3,800円

やさしく学ぶ特別活動
奥野浩之 他 著　ミネルヴァ書房　2,400円

違憲審査基準
尾形健 他 著　弘文堂　4,600円

軍事的暴力を問う
冨山一郎 他 編著　青弓社　3,000円

アジアの質的心理学
黄琬茜 他 著　ナカニシヤ出版　2,500円

現代中国経済論 第2版
厳善平 他 著　ミネルヴァ書房　3,200円

LEGAL QUEST 民法I 総則 第2版
佐久間毅 他 著　有斐閣　2,600円

アジアの国際関係
寺田貴 他 著　春風社　2,500円

近代日本の庶民史
西村卓 著　有斐閣　3,500円

よくわかる福祉行財政と福祉計画
永田祐 他 編著　ミネルヴァ書房　2,600円

現代ヘブライ語における前置詞の重要性
アダ・タガー・コヘン 著　リトン　3,500円

中国山水画史研究
河野道房 著　中央公論美術出版　12,500円

信託取引と信託課税の法理
占部裕典 著　慈学社出版　13,000円

地方自治法入門 増補版
佐伯彰洋 他 編著　黒坂則子 他 著
成文堂　2,000円

世界の子どもの貧困対策と福祉関連QOL
黒木保博 監修　黒木保博　姜民護 他 著
学文社　3,200円

ベーシック条約集 2018
坂元茂樹 他 編　東信堂　2,600円

日本型法治主義を超えて
佐伯彰洋 他 著　大阪大学出版会　5,600円

現代法哲学講義 第2版
浅野有紀 他 著　信山社　3,400円

日本人と海外移住
吉田亮 他 著　明石書店　2,600円

教職論
大橋忠司 他 著　ミネルヴァ書房　2,000円

現代界面コロイド化学の基礎 第4版
猪田智一 他 著　丸善出版　5,400円

中央ユーラシア史研究入門
向正樹 他 著　山川出版社　3,000円

日常の中の哲学
庭田茂吉 著　萌書房　2,500円

電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか
石井香江 著　ミネルヴァ書房　6,500円

レヴィナスにおける身体の問題I
庭田茂吉 著　萌書房　2,500円

社会保険の考え方
坂井岳夫 他 著　ミネルヴァ書房　3,500円

レクチャー国際取引法 第2版
髙杉直　吉川英一郎 他 著　法律文化社　3,000円

アメリカ大統領の権限とその限界
阿川尚之 他 編著　日本評論社　2,700円

新編同志社の思想家たち 上
沖田行司 編　沖田行司　望月詩史 他 著
晃洋書房　2,200円

憲政から見た現代中国
村田雄二郎 他 著　東京大学出版会　6,800円

法学講義民法 総則 第3版
大中有信 他 著　勁草書房　2,800円

進化するマインドフルネス
飯塚まり 編　飯塚まり　佐藤豪　中川吉晴
廣安知之　日和悟 他 著　創元社　2,000円

環境経済・政策学事典
和田喜彦 他 著　丸善出版　20,000円

認知言語学とは何か
長谷部陽一郎 他 著　くろしお出版　2,400円

生き物はどのように土にかえるのか
大園享司 著　ベレ出版　1,700円

新プリメール民法 5 家族法
神谷遊 他 著　法律文化社　2,500円

新しい教職基礎論
金子邦秀 監修　児玉祥一　奥野浩之 他 編著
大橋忠司　田中希穂　田中曜次　中瀬浩一 他 著
サンライズ出版　1,900円

キノコとカビの生態学
大園享司 コーディネーター　共立出版　1,800円

A passage to self in Virginia Woolf's works and life
臼井雅美 著　現代図書　2,600円

越境する地域福祉実践
永田祐 他 著　全国社会福祉協議会　1,200円

救急患者支援
野村裕美 他 編著　へるす出版　4,600円

スピリチュアリティと教育
中川吉晴 他 著
ビイング・ネット・プレス　1,800円

確率と統計の基礎 II
宿久洋 他 著　ミネルヴァ書房　3,500円

障害者福祉の政策学
北川雄也 著　晃洋書房　2,800円

福祉権保障の現代的展開
尾形健 編　尾形健　岡野八代 他 著
日本評論社　5,600円

イギリス法入門
戒能通弘 他 著　法律文化社　2,400円

Law practice 民法 I 総則・物権編 第4版
大中有信 他 著　商事法務　3,300円

Law practice 民法 II 債権編 第4版
荻野奈緒 他 著　商事法務　3,300円

国際取引の現代的課題と法
髙杉直 他 著　信山社　17,500円

保険法 上
山下友信 著　有斐閣　4,400円

ディープラーニング入門
津田博史 監修　朝倉書店　3,600円

相談援助の基盤と専門職 第3版
空閑浩人 他 著　中央法規出版　2,600円

どうしてルターの宗教改革は起こったか
石坂尚武 著　ナカニシヤ出版　1,800円

INTERVIEW
同志社人
訪問

株式会社藤井大丸代表取締役社長

藤井 健志さんに聞く

**常に時代をリードする高感度なライフスタイルの提案を続け、
京都唯一の地場百貨店として2020年に創業150年を迎える藤井大丸。
その新たな伸展を目指して今年就任した藤井健志社長にインタビューしました。**

企業人としての礎を培った20代の鮮烈で貴重な学び

岡田　卒業後は東京の企業でキャリアを積まれたのですか。

藤井　当時は幅広い選択肢の中から自分が挑んでみたい仕事を自由に選びたいと考えていました。ですから、藤井大丸への入社は念頭に置いていませんでした。卒業後は公認会計士の資格取得を目指す専門学校TACに入学しました。専門性を高めたいという意図もありましたが、もう少し学生時代を過ごし、自分の選択肢を増やしたかったからです。勉強のために、本学の図書館も頻繁に活用しました。ふり返ると、在学中よりも今出川キャンパスに足繁く通いました(笑)。2年後に知人の誘いを受けてソフトバンク(現・ソフトバンクグループ)に就職しました。時代の最先端を駆ける有望なベンチャー企業であり、それまでの学びも活かせると思ったからです。その頃の社員数は、まだ70人前後。まさに創成期でした。残業も厭わないハードワーカーが結集しており、熱気に満ちていました。深夜に「全員集合!」の声がかかり、新事業に進出するための討議が行われるようなこともありました。とにかく仕事が大好きな方たちが多く、良い意味で驚きに溢れた刺激的な日々を過ごすことができました。また、ワーク・ライフ・バランスも大切ですが、優れたアウトプットを行うためには、それ以上のインプットが必要ということも教えられました。仕事に対する考え方を始め数多くの貴重な学びを得た日々でした。その後、日本を代表するあずさ監査法人に移りました。すでに公認会計士の二次試験には合格していたのですが、三次試験をパスし、公認会計士登録するためには会計監査業務などの実務経験が必要だったからです。国際部に配属され、様々なタイプの上司の下で働きました。英語が必要な場面も多く、働き方もソフトバンク時代

コアとなるお客様をパートナーとして次代の「価値ある世界」を発信したい

今回の同志社人

藤井 健志 さん
【2001年 経済学部 卒業】

ふじい・けんじ　京都市出身。ソフトバンク（現・ソフトバンクグループ）、あずさ監査法人を経て 2009 年に藤井大丸入社。経営企画室長や MD・事業開発本部長を務めた後、2018 年に代表取締役社長に就任。

とは全く異なっていました。ここでは国や習慣の違いによる思考やアプローチ手法などの「多様性」を実感しました。結果的に実り多い経験を積み重ねることができた 20 代であり、企業人としての基礎を培うことができたと思っています。

2年後の創業 150年に向けて独自先進の次代戦略を構築

杉之尾　企業のトップとして最も重視しておられるのは何ですか。

藤井　2009 年に家業である藤井大丸に入社しました。31 歳の時です。経営企画室長や MD・事業開発本部長を務めました。血気盛んな 20 代を東京で過ごし、キャリアもそれなりに高めてきた自負もあり、意気込んで現場に飛び込んだのですが、現実は甘くない。練り上げたプランを次々に提案したのですが、ほぼ無視されるような時期が数年以上続きました。当時の社長は 70 代、役員も 60 歳前後であり、私の発想や視点などと大きな隔たりがあるわけです。ここで折り合いをつけても、次は社員の理解が得られない。このような状況に直面して痛感したのは、「どうすれば、人を動かすことができるのか」という組織運営における根幹的な問題で、これが企業のトップとしての直近のテーマでもあります。私の提示する理念や目標に賛同してくれる仲間を着実に増やしていく。「どれだけ周りの人々を巻き込んでいけるか」が当面の一番大切な課題だと考えています。また、「次代に向けて当社をどのように進化させていくか」を具体的に発信することも重要です。今年社長に就任したばかりの私を、全社員が注視しており、時を逸すれば期待感が失せてしまうからです。ここで配慮しなければならないのは、段階的な変革です。極端な試みには、人はついて行けない。基本的に人間は変わらないことを望みます。その方が安易であり、安心だからです。この壁を自発的に乗り越え、新たな結実を得ようとする方向に導かなければなりません。当社は 2 年後に創業 150 周年を迎えます。それまでに 2020 年代に向けた企業戦略を明確に提示しなければならないと考えています。

岡田　2020 年代を見据えた新たな企業戦略を聞かせていただけますか。

藤井　日本は少子高齢化が進み、消費人口は減少し、ファッションマーケットの規模も縮小していきます。モノ選びの感性も熟成を極め、価値観もさらに多様化する。このような時代の流れを踏まえた上で、どのような次代戦略を打ち出し、差別化を図るのか。これが最大のポイントです。私が考えているのは、まずコアとなるお客様の徹底した絞り込みです。10 人の中で 2 人前後のファンを獲得できれば、今後も伸展できると判断しています。その核となるお客様をパートナーとして、共に新たな「価値ある世界」を創り出していきたい。これまでの店舗間の競合という次元を脱し、界隈を周遊すればプラスαの楽しみが得られる街づくりを、地域が一体となって目指すことも非常に重要だと思っています。世界でも屈指の歴史と文化を誇る京都の中心地に位置するという、圧倒的な優位性を活かすべきです。市場という観点では、アジアを中心とした海外も視野に入れています。2020 年代には再びグローバル化の大きな波が来ると予測しています。

際立つ創造性と人間性を引き出す企業環境を創出する

杉之尾　社長が高く評価し、求めておられるのはどのような人材ですか。

藤井　私が評価する優れた人材とは

「こだわりが強い人」。独りよがりなこだわりを持った人、マニアックな方は数多くいますが、客観的な物差しで他との違いを意識して掘り下げ、社会や企業の中で自己を主張できる人は非常に少ない。それが、卓越した仕事に不可欠なクリエイティビティとホスピタリティの深化に直結すると考えています。このような逸材を育てるというよりも、その際立つ創造力と人間性を引き出す環境を創り出すことが、私の務めだと思っています。また、社長には右腕が必要という意見がある一方で、否定される方々も多い。仮に登用するにしても、役員から選出すれば問題はありませんが、それ以外からとなると抵抗が起きます。当社のお客様の年代を主眼にすれば、若い世代の20〜30代がふさわしいという考え方もありますが、現実的には難しい。正直、迷うところですが、当面はグループ的な体制で臨み、その中から頭角を現す人が生まれてくるのを待つのがベストなのかもしれません。

岡田　同志社での貴重な学びは何ですか。後輩への助言もお願いします。

藤井　やはり「自由と自立を尊重する校風」ですね。同志社の「自由主義」を、好き勝手することと履き違えていた時代もありましたが、次第に、自らを律しながら主体的に行動することが大切であることを学びました。中高時代が、制服ではなく私服だったことも、感性を磨き、自己を表現する力を高めるのに役立ちました。同志社で得た友人たちも、かけがえのない私の財産です。常に社長として振る舞おうと意識していると、時折、本来の自分を見失うことがあるのですが、彼らに会うと、それを取り戻すことができるのです。後輩の方々への助言としては、旅行や留学などで「異なる世界を知ること」。例えば、外国を旅すれば、日本の真の姿が見えてくる。もう一つは恋をすること。「人を深く理解する」ための一番の近道だからです。最後にお願いしたいのは親孝行。傍に居るだけで良いのです。「なにげなく一緒にいる時間」を大切にしてほしいと思っています。

インタビューを終えて

お客様と共に新たなモノやコトを創出したいというお考えに感銘を受けました

インタビュアー
岡田 有加 さん
【商学部 4年次生】

おかだ・ゆか　徳島県出身。社会の動きを学ぶために商学部を選択。中小企業経営者の経営方法や直面する課題に深い関心を持ち、関智宏教授ゼミで、その実態調査に取り組む。卒業後は公務員として徳島県の活性化に貢献したいと考えている。

新たな飛躍のために不可欠な変革を目指し、賛同する社員を拡大するために、一歩ずつ段階を踏んで推し進めていくという姿勢が印象的でした。特に感銘を受けたのは、ビジネスの次元を超えて、お客様と共に新たなライフスタイルを創り出したいという考え方です。また、時代は効率化を重視していますが、これからは非効率を楽しむことが非常に大切であるという発想にも深い共感を覚えました。

ターゲットを徹底的に絞り込んでおられる決断力がすごいと感じました

インタビュアー
杉之尾 愛子 さん
【商学部 4年次生】

すぎのお・あいこ　兵庫県出身。祖父、父親が共に同志社大学の卒業生で幼少期から本学に憧れを抱いていた。関智宏教授ゼミに所属し、中小企業経営者への取材調査などを実施。卒業後は人々の日々を支える公共性の高い仕事を志望して金融業界に就職が決まっている。

10人の中で2人前後の核となるファンを獲得できれば伸展できる、という言葉に圧倒的な自信を感じました。また、他社を含む社員時代に得られた経験や視点などを、新社長として組織の活性化に生かそうとしておられる点も素晴らしいと思いました。これは一人の潜在客として気づいたことですが、「お客様からの声」をさらに多彩に発信されることをご提案します。同世代は事前情報としてSNSなどを徹底活用しているからです。

My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

図師（ずし） 美緒（みお）さん
[2016年 社会学部産業関係学科卒業]
TAKAMI HOLDINGS株式会社
マネジメントDIV. 人材開発課

お客様に「最高のおもてなし」をご提供するために 全てのクルーが輝くことのできる体制を築く

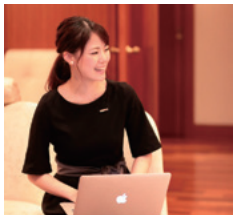
One day on the job

09:45 出勤。

10:00
リクルートSNSの更新、メールチェックから一日がスタート。

14:00
自社説明会。
教会にて、新卒採用向けに開催します。

17:00
人材開発課全体ミーティング。
関東のメンバーとテレビ会議でインターンシップの企画立案や採用計画の話し合いを月1程度で行っています。



18:00
内定者面談。
悩んでいることや今後のキャリアについて個別で面談を実施しています。

19:00 退社。

19:30
飲み会。
仕事終わりは、同じ部署の先輩や関西の同期とよくご飯に行きます。
TAKAMI BRIDALは年代問わず、プライベートも仲が良いクルーが多いですね。

※上の写真は関西採用チームです。

当社は「ライフスタイルの分野において最高のおもてなしで世界中の人々を幸せにする…」という理念を掲げ、ブライダルの枠を越えて、ビジネスイベントのプロデュースも行っています。私が就職時に軸としていたのが、女性が伸びやかに活躍でき、キャリアを磨き続けることができるグローバルな企業でした。また、「おもてなし」を大切にする仕事が向いていると考えていました。ただ、業界を絞れておらず、たまたま同志社の先輩に「絶対にここの企業合うから！」と勧められたのがTAKAMI BRIDALでした。それをきっかけに説明会に参加したのが、当社との初めての出会いでした。女性社員が約80%を占め、女性の管理職も多いと聞き、好感を抱いたのを覚えています。特に、クルーの方が、他の会社の方とは全く違う輝きを持っておられ、こんな女性になりたいと強く思い、入社を希望しました。

最初についた仕事は、スタイリストです。新郎様新婦様だけでなく、ご家族の衣裳もトータルコーディネートするお仕事です。スタイリストがお客様と最も長く深く関われる職種であることを知り、希望しました。人材開発課に移ったのは1年3カ月後です。実は当社の内定を得た時、キャビンアテンダント（CA）の仕事にも興味があり、迷っていました。この経験を活かし、多くの学生の皆さんが同じように就職先の選択に直面したとき、人生で一生に一度の就職活動のお手伝いができればと考え、挑戦することを決意しました。

業務は学生向けのSNS発信からインターンシップの企画立案、採用計画、社内研修の実施まで多岐にわたります。また、「世界一学ぶ組織」を目指して、一人ひとりに合ったスキルアップ講座をオンラインで受けることができる「TAKAMI COLLEGE」を今年度よりスタート致しました。ブライダルに関する知識だけでなく、英会話から、PCスキルまで様々な講義をTAKAMIクルーが講師となって開催しています。仕掛ける側だけでなく、私自身もこの制度を利用しながら、より理想の自分に近づけるように邁進しています。

現在は、同志社大学のプロジェクト科目も担当しています。「現場に学ぶ」という観点から設定したテーマは「あなたがプロデュース！KYOTO和婚の魅力を世界に発信プロジェクト」。外国人の京都での挙式、婚礼写真の撮影を促進する新施策の具現化を通じて実践力を鍛えるのが狙いです。母校に少しでも貢献できればと願っています。

MyLife

株式会社マイナビ
広島支社

第79回

木田 将也（きだ まさや）さん
［2011年 商学部商学科卒業］
株式会社マイナビ
転職情報事業本部
中国ブロック ブロック長

を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。
キャリア・プランに役立てば幸いです。

自分のために“自分を超える”人材を育てる組織として良い流れをつくっていきたい

5歳でボクシングを始め、地元広島の高校で本格的に取り組みました。その時の監督やOBの方が同志社大学の出身や在学生だったことが、進学に興味を持ったきっかけです。もちろん大学でもボクシングを続けましたが、同志社大学のボクシング部はとにかく多様な人たちの集まりでした。大学からボクシングを始めた人たちもいるので、彼らを一から指導し、自分の相手になるように育てていかなければなりません。そうした経験は、現在の仕事にも間違いなく役立っています。

私は今、就活生にもおなじみのマイナビで転職情報を提供する事業に携わっています。ここに至るまでにも紆余曲折がありました。4年生のとき東京の企業から内定をいただいたにもかかわらず、単位数が足りず留年。しばらくして大手企業に就職した同期の友人に会うと、ボーナスをもらって活躍している姿が輝いて見えました。遅れを取り戻すつもりで、卒業後は徹底した実力主義の会社に就職しました。そこで営業スキルを磨き、さらに採用活動にも関わることができたため、それらの経験を生かしながらビジネスパーソンとしても成長できる場を求め、2013年マイナビに転職しました。

入社後も「人一倍頑張ろう」と常に上昇志向でステップアップしてきました。役職が上がるにつれ、自分の成績だけでなく「後進を育成する」ことも課題になってきました。2018年4月には中国ブロック長に就任し、ますますその大切さを感じています。ブロック長としては、攻めと守りの両面から市場でのシェアを上げていくこと、さらなるエリアの開拓が大きなテーマです。かつては実家の家業を継ぐことを考えていた時期もあった影響か、私は常に経営者的な視点を持つようにしています。営業利益を確保しながら組織として良い流れをつくり、いずれは自分が抜ける。つまり次の人に託す、という風にしていきたい。そのためにも部下には自分の仕事を奪うまでになってほしいし、自分もそういう気概でさらに上を目指したい。そんな考えの原点には、大学での部活動があるのです。

仕事柄、学生たちからは「大学時代にやっておくと良いことは?」という質問を受けます。でも会社に入るためにこれをすれば良いということはなく、それぞれが今を一生懸命生きて楽しめばいい。そうやって自分の幅を広げておけば、後になって「あ、あれが今役立っている」と思える時が来ます。

One day on the job

09:00 出勤。

09:30
企業へのアプローチ・ニーズのヒアリング

13:00
部下の商談に同行。
企業の採用ニーズをもとにマイナビ転職を利用していただけるように提案。

15:00
帰社。部下から提案内容などについて相談を受ける。
部下の成長が大きな楽しみです。

17:00
ミーティング。
メンバーと情報を共有。抱えている案件の把握や効果的なアプローチなどをアドバイスします。

18:00 退社。

19:00
達成会!
がんばってくれているメンバーと月に1回程度は飲み会へ!
20代メンバーが多く、いつも賑やかです。

2018年世界フィギュアスケート選手権5位入賞で脚光を浴びる
直近の目標は来年の同大会で表彰台に立つこと
全ての試合で勝つという強い決意がオリンピック代表につながる

銀盤の上に初めて立ったのは３歳の頃である。自宅から徒歩５分ほどの所にスケートリンクがあり、以前フィギュアスケートをしていた母親に誘われて出かけたのがきっかけだった。その後、数年間は遊び感覚でスケートを満喫していたという。本格的にフィギュアスケートに挑むようになったのは８歳の時。現在も指導を受けている平池大人コーチから勧められた。以後、大阪府立臨海スポーツセンターで練習に打ち込む日々が始まる。「今でこそ私の意見も聞いてもらえるようになりましたが、当時は怒鳴られてばかりで、戦々恐々の毎日でした。熱意が凄まじく、その分厳しいのです。夏休みも一日中スケートリンクの上にいたと記憶しています」。高校時代には尊敬する先輩の町田樹選手や田中刑事選手とも同じスケートリンクで練習する機会にも恵まれ、数多くの貴重な助言や経験を得ることができたとふり返る。

ジュニア時代はジャンプが苦手で、特にトリプルアクセルの習得に時間を要した。「何年も挑み続けたのですが、上手く跳べない。死にもの狂いで練習を繰り返し、試合でも懸命に試みるのですが、だめでした。結果的に５年ほどかかりました。成功したのは高校１年の時。コンビネーションジャンプも不得意でしたが、これも１年後には跳べるようになりました。同時期に４回転ジャンプもできました」。ひたすら練習に励むことによって筋力や感覚などが培われ、これが苦手の克服と高難度の技のマスターにつながったと語る。

フィギュアスケート選手として大きな転機となったのが2016年世界ジュニアフィギュアスケート選手権だった。エントリーしていた選手が直前に骨折し、急遽出場することになったのである。「全世界のジュニアのトップを決める大会に初めて出場して、そのレベルを痛感しました。誰もが『世界で一番になる！』ことに全てを懸けており、国内大会に照準を合わせていた私とは、意識が違いました。15位という成績は自身としては大健闘だったのですが、世界のレベルを知り、『真の悔しさ』を噛みしめることが飛躍へのきっかけになりました」。この経験がなければ、現在の自分はないと断言する。

普段の練習で最も重視しているのはプログラムの全体的な完成度を高めること。そのために最初から最後まで全力を注ぎ、個々の技の冴えを追求している。また、自身の最大のアピールポイントは「観客を魅了する力」だと捉えており、表現力を徹底的に磨きたいと考えている。「日本の選手で目標にしているのは髙橋大輔選手と町田樹選手の２人です。特に表現力では髙橋大輔選手が最高だと思っています。高度なプログラムの中で、どうしてあのように華麗に滑れるのか。まさに、別格ですね。少年の頃から憧れていた選手であり、雲の上の存在です」。

2018年世界フィギュアスケート選手権で５位入賞を果たして一躍脚光を浴びた友野一希さん。直近の目標は来年の世界フィギュアスケート選手権に再び出場し、その表彰台に立つこと。「全ての試合でメダルを獲得するという強い気持ちが次の冬季オリンピック出場につながる」、友野さんの表情は確信に満ちあふれている。

友野（ともの） 一希（かずき）さん
［スポーツ健康科学部 2年次生］

One Purpose 〈ワンパーパス〉同志社大学通信 196号
2018年11月1日(4・7・11月年3回)発行 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
発行 同志社大学 広報部広報課
TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080
E-mail：jj-kcho@mail.doshisha.ac.jp